

人権教育にかかわる年間指導計画(第2学年)

江戸川区立篠崎第五小学校

年間指導計画作成のための方針

- 児童が一人一人のよさを認め、よりよい人間関係を作るために、かかわり合い、学び合う学習活動を行う。
- 児童の豊かな人間性を育み、生命尊重の心情や態度を育てる指導を行う。
- 体験的な活動を重視し、人権課題について学ぶことができるようにする。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	人権課題を考慮しながら、学年・学級目標を設定	自他の大切さを認め、児童相互の望ましい人間関係を築き、児童の学校生活への適応を図る。			一人一人が個性や能力を発揮して活躍できる場や機会を設定し、学級の一員として認められているという存在感をもつことができるようにする。			この1年間での自他の良さの伸びや高まりを実感できるようにする。				
各教科・読書科	算数 児童一人一人が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を高めるための、少人数習熟度別指導によるきめ細かい授業											
特別の教科	国語「スイミー」 お話の好きなところを見つけ、友達に伝え	国語「スイミー」 お話の好きなところを見つけ、友達に伝え	国語「スイミー」 お話の好きなところを見つけ、友達に伝え	国語「スイミー」 お話の好きなところを見つけ、友達に伝え	国語「どうぶつえんのじゆうい」 動物の命を守る獣医の仕事について知り、	国語「お手紙」 がまくん、かえるくんの気持ちを読み	国語「お手紙」 がまくん、かえるくんの気持ちを読み	国語 「すてきなところをつたえよう」 思いを伝える手紙を、読む人のことを考えて、わかりやすく書く。手紙を読む	国語 「スーホの白い馬」 場面の移り変わりや人物の心のふれあいを読み取る。	国語 「スーホの白い馬」 場面の移り変わりや人物の心のふれあいを読み取る。	国語 「スーホの白い馬」 場面の移り変わりや人物の心のふれあいを読み取る。	
道徳	礼儀 あいさつの大切さを知り、気持ちのよいあいさつをしようとする。	思いやり 親切 身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする。	生命の尊重 かけがえのない生命の尊さに気づき、大切にしようとする。	信頼・友情 友達と仲良く助け合っていることとする。	信頼・友情 友達のことを思い、助けようとする。	善悪の判断 正しいと思うことは、勇気をもって行おうとする。	思いやり 親切 身近な人に温かい心を持ち、親切にしようとする。	生命の尊重 身近な生き物の誕生や成長を優しく見つめ、命あるものを大切にしようとする。	思いやり 親切 友達や幼い人に温かい心を持ち、親切にしようとする。	生命の尊重 かけがえのない生命の尊さに気づき、大切にしようとする。	善悪の判断 よいと思うことは、すすんで行おうとする。	
生活科	「教えてあげるよ」 友達や2年生と一緒に学校を探検して、優しくお世話する。	「ぐんぐんそだて わたしのやさしい」 自分で野菜を育てて、草花に関心を持ち、命を大切にしようとする。			「うごくぐわたしのおもちゃ」 地域の人等に普遊びを教えてください、一緒に楽しむと共に、お礼に気持ちを表す。			「あしたへジャンプ」 小さかったころの聞き取りなどを通して、自分の成長に実感を持ち、友達と共に成長を認め合う。				
特別活動	学級活動 係や当番の仕事を通して、クラスや友達の役に立っていることを認め合う、	体育発表会 協力し合って演技をする。友達を応援する。	たてわり班活動、異年齢集団による児童の関わりを重視した活動			学芸的行事 友達のよさを認め合う。			学級活動 自己の成長を確認し、新学年に向けて、新たな目標を考える。			
生活指導	基本的生活習慣の徹底											